

第7回 沖縄県サンゴ礁保全推進協議会総会

日時 平成26年 7月 6日(日)13:30～15:00
会場 沖縄大学 2号館2-406

—議案書—

第1号議案 平成25年度活動報告

平成25年度は下記の内容について活動を実施した。

- (1) 理事会及び総会の開催、交流会の実施
- (2) 第5回わたしのサンゴ礁イメージ展の実施
- (3) サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業
- (4) サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業報告シンポジウムの実施
- (5) おきなわサンゴ礁ウィーク2014の実施
- (6) 後援、共催、協賛
- (7) ホームページの維持管理
- (8) その他

サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業平成25年度採択団体伝達式

(1) 理事会及び総会の開催

- 第12回理事会 (2013年5月28日、沖縄県庁 4階 第4会議室)
- 第13回理事会 (2013年6月16日、沖縄大学2号館3階 2-306号教室)
- 第6回総会 (2013年6月16日、沖縄大学2号館3階 2-306号教室)
- 第14回理事会 (2013年10月11日、沖縄県庁 4階 第3会議室)

資料や議事録は協議会のホームページをご覧ください。

<http://coralreefconservation.web.fc2.com/about/rijikai.html>

(2) 第5回わたしのサンゴ礁イメージ展の実施

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会では、毎年、サンゴ礁の保全意識の向上を目的に『わたしのサンゴ礁』イメージコンテストを実施しており、平成25年度も平成25年12月～平成26年2月にかけて作品を募集し、コンテストを実施した。しかし、作品の応募件数が少なく展示会の開催に至らなかった。

(3) サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会では、「対象区域のサンゴ礁の保全に関する活動を推進すること」を目的として、平成23年度から助成事業を実施しており、これまでに7団体が本事業の支援を受け活動を実施した。平成25年度は新たに4団体を採択した。

- 平成25年度採択団体：宮古島マリンリゾート協同組合 (320,000円)
- ：NPO法人海の自然史研究所 (600,000円)
- ：ナンハナリサンゴ調査会 (600,000円)
- ：NPO法人グローイングコーラル (600,000円)

平成 25 年度 サウジアラムコ サンゴ礁保全活動助成事業

選定された事業の概要

番号	団体名	課題名	採択額 (円)	事業の概要
H25_1	宮古島マリンリゾート協同組合	宮古島海域海底清掃活動	320,000	<p>宮古島の海底には捨てられた多くの釣具があり、それらがサンゴに絡まったりしているのが多く見られる。そのため、宮古島海域の海底清掃（釣具の撤去）を行う。</p> <p>また、海底に捨てられた釣具の中には、リサイクルできるルアーや鉛があるため、釣具店と協力してリサイクルを考え、リサイクル品の販売の収益を活動の継続費用にするための仕組みを検討する。</p>
H25_2	NPO 法人 海の自然史研究所	『この先、海です。プロジェクト』の石垣島での実施	600,000	<p>雨水溝を通る水は、直接、海や川に流れる仕組みであるため、雨水と一緒に雨水溝に流されるゴミ、洗剤、赤土などは川や海へ流れて環境の汚染につながる。このことを多くの子どもたちに伝えるための普及啓発プログラムを実施する。対象は石垣市の小学生とし、地域の関係団体と連携し、勉強会、ポスター作成などを行う。</p>
H25_3	ナンハナリサンゴ調査会	久米島ナンハナリのヤセミドリイシ大群集のモニタリングと島民および観光客への普及啓発	600,000	<p>久米島のナンハナリ海域におけるヤセミドリイシ大群落の保全を目的として、1) サンゴ群集のモニタリング活動の継続（2011年の台風被害からの回復過程の記録）、2) 島内におけるサンゴ礁保全のための教育普及活動、3) サンゴおよびサンゴ礁保全のための勉強会の開催を行う。</p>
H25_4	NPO 法人 グローイングコーラル	サンゴ育成用鉄筋構造物のオニヒトデ防除機能の検証	600,000	<p>糸満市喜屋武のイノー内にサンゴ育成用の鉄筋構造物を設置して、その鉄筋構造物のオニヒトデ防除機能の検討を行う。</p>

(4) サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業報告シンポジウムの実施

タイトル：「サンゴ礁保全から進める地域興し」

日時：3月2日（日）13:30～17:00

場所：沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室

概要：保全活動を実施する人々による講演会・事例紹介

(5) おきなわサンゴ礁ウィーク2014の実施



(6) 後援、共催、協賛

後援：2013年4月13日（日本自然保護協会、北限のジュゴン調査チーム・ザン）

「砂浜のはなし」

2013年7月12日～9月1日（沖縄県立博物館・美術館）

「目からウロコの大生き物展～生物多様性ホットスポット JAPAN～」

2013年12月5日（一般財団法人沖縄美ら島財団 美ら海研究センター）

「サンゴシンポジウム サンゴの移植（8）ー環境教育に活かすサンゴの移植活動ー」

2014年1月18日（日本自然保護協会、沖縄・生物多様性市民ネットワーク）

「フォーラム 生物多様性おきなわ戦略で見る沖縄の未来」

2014年3月20日～23日（一般財団法人沖縄美ら島財団 美ら海研究センター）

「サンゴワークショップ サンゴの分類と同定2014」

共催：2014年3月1日～3月9日（おきなわサンゴ礁ウィーク 2014）

おきなわサンゴ礁ウィークの期間中に開催された各イベントはすべて共催として実施。

●サンゴ礁ウィーク期間中の共催イベント一覧

	主催者	イベント	期間 (平成26年)
1	那覇シーサイドパーク	サンゴのことがとってもよく分かる 海あしび 「サンゴの植えつけ体験ダイビング」	3月9日
2	那覇シーサイドパーク	サンゴのことがとってもよく分かる 海あしび 「シュノーケリング」	3月1日～9日
3	沖電開発株式会社	2014.03.05 サンゴの日 『小学生サンゴ環境学習会』	3月5日
4	日本サンゴ礁学会・若手の会	サンゴ礁がもっと知りたくなる週末 ～研究者に会いに行こう！	3月1日～2日
5	沖縄県立博物館・美術館	サンゴでクイズ！博物館へサンサンGOGO！！	3月2日
6	あーまんシアター	あーまんシアター	3月2日
7	NPO法人海の自然史研究所	Coral Reef Study（コーラルリーフスタディー）	3月2日
8	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会	サンゴ礁保全から進める地域興し	3月2日
9	沖縄県ダイビング安全対策協議会	美ら海写真展	3月1日～9日
10	沖縄県自然保護課	サンゴ礁保全とオニヒトデ研究	3月5日
11	ニライ地区のサンゴを見守る会	親子でサンゴの海の磯観察	3月1日
12	NPO法人コーラル沖縄	サンゴの苗床作り	3月2日
13	(有)海の種	合言葉で行ってみよう、さんご畑！	3月1日～9日
14	比謝川カヤック、イーズ、海うさぎ	比謝川でのマングローブ カヤック体験	3月2日～9日
15	沖縄・生物多様性市民ネットワーク/ 沖縄リーフチェック研究会	辺野古・大浦湾の多様な生き物たち	3月3日～9日
16	一般財団法人沖縄美ら島財団 総合研究センター	サンゴ礁の磯観察	3月2日
17	チーム美らサンゴ	サンゴってなに？ ～みんなでさんごについて勉強しよう！～	3月9日
18	恩納村博物館	恩納村の海の恵み	3月1日～9日
19	NPO法人おきなわグリーンネットワーク	海人とハルサーの美ら島・ 美ら海への思いを大地に植えよう！	3月8日
20	NPO法人宮古島海の環境ネットワーク	海辺の生きもの観察会	3月2日
21	NPO法人宮古島海の環境ネットワーク	サンゴを語ろう	3月1日
22	NPO法人美ら海振興会	国立公園 ポートスノーケル体験	3月1日～9日
23	一般社団法人久米島の海を守る会	儀間川(久米島)河口域の赤土堆積量調査	3月2日
24	石垣島サンゴウィーク	石垣島サンゴウィーク 2014	3月1日～5日
25	沖縄県・ 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー	サンゴの日記念 沖縄まつり in サンシャインシティ	3月5日
26	沖縄県環境整備課	おきなわ海ゴミワークショップ	3月3日
27	環境省	慶良間諸島国立公園新規指定に関する式典・講演会	3月8日
28	座間味村、渡嘉敷村	記念クルーズ、ホエールウォッチングなど	3月上旬
29	一般社団法人渡嘉敷ダイビング協会	イキイキサンゴ大作戦 IN 渡嘉敷 ～美しいケラマの海をみんなの力で～	3月5日

(7) ホームページの維持管理

サンゴ礁保全に関するイベント情報等を更新した。

(8) その他

サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業平成 25 年度採択団体伝達式

日時：3 月 2 日（日）13:00～13:30

場所：沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室

第2号議案 平成25年度収支決算報告

平成25年4月1日～平成26年3月31日までの決算は下記のとおりでした。

	平成25年度 収支予算	一般会計	サウジアラムコ 基金	total
前年度繰越金	9,023,197	1,467,794	7,522,403	8,990,197
収入	200,000	130,770	1,129	131,899
			150,006.15(ドル)	150,006.15(ドル)
支出	5,730,000	850,771	1,762,961	2,613,732
未払金(助成)	-	-	1,520,000	1,520,000
口座の移動	1,000,000	1,000,000	-1,000,000	-
次年度繰越金	3,489,197	1,747,793	3,240,571	4,988,364
			150,006.15(ドル)	150,006.15(ドル)

● 収入	平成25年度 収支予算	一般会計	サウジアラムコ 基金	total
1) 寄付	100,000	130,574	-	130,574
			150,000(ドル)	150,000(ドル)
2) 助成金	100,000	-	-	-
3) その他	-	-	-	-
4) 預金利息	-	196	1,129	1,325
			6.15(ドル)	6.15(ドル)
5) 口座の移動	1,000,000	1,000,000	-	1,000,000
6) 前年度繰越金	8,990,197	1,467,794	7,522,403	8,990,197
収入合計				10,122,096
				150,006.15(ドル)

● 支出	平成24年度 収支予算	一般会計	サウジアラムコ 基金	total
1) 活動費	260,000	106,351	5,040	111,391
2) 会議費	50,000	3,000	-	3,000
3) 消耗品、備品	-	-	-	-
4) 旅費	500,000	326,220	-	326,220
5) 謝金	-	12,000	-	-
6) 通信費	10,000	-	-	-
7) 雑費	10,000	-	-	-
8) 委託費	500,000	403,200	-	403,200
9) 協賛金	-	-	-	-
10) 助成金	4,400,000	-	1,757,921	1,757,921
11) 口座の移動	1,000,000	-	1,000,000	1,000,000
12) 未払金(助成)	-	-	1,520,000	1,520,000
13) 次年度繰越金	3,489,197	1,747,793	3,240,571	4,988,364
支出合計				10,110,096

・収入詳細

- 1) 寄付：サウジアラムコ、ルミネ、日本ハム、カーボンオフセット（沖環科）

・支出詳細

- 1) 活動費：おきなわサンゴ礁ウィーク実施費用、アジェンダ負担金、振込手数料など
 2) 会議費：総会会場費
 3) 消耗品、備品：なし
 4) 旅費：理事会、審査会旅費
 5) 謝金：シンポジウム講演者謝金
 6) 通信費：なし
 7) 雑費：なし
 8) 委託費：沖縄県環境科学センターへの事務委託費
 10) 助成金：
 助成金内訳

平成23年度助成事業

	助成額	概算払	支払日	精算払い	支払日	合計
NPO法人読山原	400,000	200,000	2012/2/6	158,063	2013/4/25	358,063
NPO法人海洋情報技術センター	400,000	-	-	400,000	2013/2/5	400,000
ニライ地区のサンゴを見守る会	600,000	300,000	2012/2/20	57,921	2013/10/11	357,921
牧野梓氏	500,000	250,000	2012/5/31	-55,870	2012/12/13	194,130
合計	1,900,000	750,000	-	560,114	-	1,310,114

「NPO法人読山原」、「ニライ地区のサンゴを見守る会」の概算払は平成23年度に支払い。

平成24年度助成事業

	助成額	概算払	支払日	精算払い	支払日	合計
NPO法人 マングローブEEクラブ	700,000	350,000	2013/6/17	350,000	2014/1/9	700,000
NPO法人 海の自然史研究所	800,000	400,000	2012/10/9	400,000	2013/12/10	800,000
NPO法人INO	800,000	470,000	2012/10/23	330,000	2013/1/23	800,000
谷口洋基	700,000	-	-	-	-	-
合計	3,000,000	1,220,000	-	1,080,000	-	2,300,000

谷口洋基氏は辞退したため、支払いはなかった。

平成25年度助成事業

	助成額	概算払	支払日	精算払い	支払日	合計
宮古島マリリゾート協同組合	320,000	160,000		160,000		320,000
ナンハナリサンゴ調査会	600,000	300,000		300,000		600,000
海の自然史研究所	600,000	300,000	2013/12/10	300,000		600,000
グローイングコーラル	600,000	300,000	2014/3/27	300,000		600,000
合計	2,120,000	1,060,000	-	1,060,000	-	2,120,000

平成25年度会計報告には、平成25年度助成事業の2,140,000円のうち、1,540,000円は未払金として計上している。

第3号議案 平成26年度事業計画(案)

平成26年4月1日～平成27年3月31日までの活動(案)を下記のとおり提案します。

- (1) 理事会及び総会の開催、交流会の実施
- (2) 第6回わたしのサンゴ礁イメージ展の実施
- (3) おきなわサンゴ礁ウィーク2015の実施
- (4) サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業
- (5) ホームページの維持管理
- (6) 後援、共催、協賛
- (7) その他活動に必要な事項
 - ・ 広報資料等の作成

表：平成26年度事業計画

平成26年度 事業計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
理事会・総会・交流会			6/2 第15回理事	7/6 第7回総会、第16回理事会 交流会	必要に応じて理事会を開催							
サンゴ礁イメージ展				公募期間	1、2回の展示会を実施							
おきなわサンゴ礁ウィーク2015					実行委員会設置	準備期間						3/5を含む1週間程度を予定
サウジアラムコ助成事業			7/7 公募	8/8 公募締切り	8月中 助成先選定審査	9月上旬 助成先の決定	事業開始(期間は1年間)					
ホームページの維持管理	随時											
後援、共催、協賛	随時											
その他活動に必要な事項 ・ 広報資料等の作成	今年度末までに作成											

※事業計画については、変更になる場合があります。

第4号議案 平成26年度収支予算(案)

平成26年4月1日～平成27年3月31日までの予算(案)は下記のとおり提案します。

	一般会計	サウジ アラムコ 基金	total
前年度繰越金	1,747,293	3,220,571	4,967,864
		150,006.15(ドル)	150,006.15(ドル)
収入	200,000	-	200,000
支出	1,928,000	3,005,000	4,933,000
口座の移動	1,000,000	-1,000,000	-
次年度繰越金	1,019,293	-784,429	234,864
		150,006.15(ドル)	150,006.15(ドル)

● 収入	一般会計	サウジ アラムコ 基金	total
1) 寄付	100,000	-	100,000
2) その他助成金等	100,000	-	100,000
3) 口座の移動	1,000,000	-	-
4) 前年度繰越金	1,467,794	6,122,403	7,590,197
	収入合計		7,790,197

● 支出	一般会計	サウジ アラムコ 基金	total
1) 活動費	460,000	5,000	465,000
サンゴ礁コンテスト	(50,000)		
アジェンダ21会費	(5,000)		
環境フェア出展費用等	(5,000)		
広報資料作成(リーフレット増刷等)	(200,000)		
サンゴ礁ウィーク開催費用	(200,000)		
2) 会議費	50,000		50,000
3) 消耗品、備品	-		-
4) 旅費	898,000		898,000
理事会等旅費	(748,000)		
審査会旅費	(50,000)		
シンポジウム等旅費	(100,000)		
5) 謝金	-		-
6) 通信費	10,000		10,000
7) 雑費	10,000		10,000
8) 委託費	500,000		500,000
事務委託費	(500,000)		
9) 協賛金	-		-
10) 助成金		3,000,000	3,000,000
平成26年度助成事業		(3,000,000)	
11) 口座の移動		1,000,000	
12) 次年度繰越金	1,019,293	-784,429	234,864
	支出合計		5,167,864

第5号議案 役員選挙結果

選出された役員は総会の日に表示されます。

第6号議案 規約の改正

第6-1号議案 規約の改正（第13条）

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会規約第13条では「役員の任期は2年を基本とする」とされており、現在、役員の交代時期が12月13日となっている。2年に一度役員選挙が実施されるが、役員の決定は選挙で選出された会員が総会の承認を経る必要があるため、6月の総会で役員を選出後、新役員の就任に遅延が生じることから、現役員の任期を短縮するなど役員の交代時期について規約の改正を提案する。

改正前	改正後
(役員の任期) 第13条 役員の任期は <u>2年を基本とする。但し、平成20年6月28日に選出される役員の任期については、次回の総会までとする。</u> また、再任を妨げない。 2. 補欠又は増員により就任した役員の任期は、他の役員の残存期間とする。 3. 役員は、辞任又は任期満了後であっても、後任者が就任するまでは職務を遂行する。	(役員の任期) 第13条 役員の任期は <u>選出から2年後の総会までとする。但し、平成26年12月13日に選出される役員の任期については、平成28年度に開催される総会までとする。</u> また、再任を妨げない。 2. 補欠又は増員により就任した役員の任期は、他の役員の残存期間とする。 3. 役員は、辞任又は任期満了後であっても、後任者が就任するまでは職務を遂行する。

第6-2号議案 規約の改正（第24条）

沖縄県環境生活部自然保護課の名称変更による規約の改正を提案します。

改正前	改正後
(運営事務局) 第24条 協議会の活動を円滑に進めるための事務作業を行う運営事務局を <u>沖縄県環境生活部自然保護課</u> に設置する。	(運営事務局) 第24条 協議会の活動を円滑に進めるための事務作業を行う運営事務局を <u>沖縄県環境部自然保護・緑化推進課</u> に設置する。

第7号議案 将来委員会の設置について

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会は、①総合的なサンゴ礁保全の推進、②多様な主体の連携、③地域のサンゴ礁保全への支援、④意見表明の自由の保障と協議会の中立性の確保を基本理念に掲げ2008年に設立し、6年が経過しました。これまでに、サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業などにより会員のサンゴ礁保全への支援を実施してきたところではありますが、基本理念に基づく協議会の取り組みをさらに前進させるため、将来委員会の設置を提案します。

将来委員会では、設立趣意書に示された協議会の役割を再確認し、将来的な協議会の目標を設定する等、今後の協議会のあり方を考える委員会とします。

●設立趣意書

私たちが生活する沖縄の島々はサンゴ礁が基盤となってできています。台風が常襲する沖縄にとってサンゴ礁は、自然の防波堤としての重要な役割を果たしているだけでなく、熱帯雨林と並ぶ多種多様な生物の宝庫でもあり、私たちに漁業資源や観光資源など様々な恩恵をもたらしてくれます。かつて沖縄では、島という限られた陸地とサンゴ礁を活用し、環境と調和のとれた半農半漁の生活が営まれていました。人々は多様性に富んだサンゴ礁とそれに続く広大な海に向き合い、海を敬い親しむ風土を古くから継承しながら、ニライ・カナイ信仰とそれにまつわる儀式や浜下りなどの行事にみられる民俗や特色ある芸術、さらには歴史的遺産にいたるまで、沖縄独自の文化を創りあげてきました。しかしながら、その様相は近年になって急激に変化しています。

1972年に本土復帰を果たした沖縄では、米軍基地問題を先送りしたまま「本土並み」を合い言葉に、数次にわたる沖縄振興計画に基づいた諸分野の産業振興策が進められ、都市基盤、医療・福祉、教育等の環境が着実に整備されました。その中でサンゴ礁は、新たな経済産業基盤として脚光を浴びる観光分野での重要な社会資産となります。しかし一方で、商業メディアに求められる「青い海、白い砂浜」という単調なイメージ広告が繰り返し展開された結果、県民自身も自ら求めた経済発展の影で多様な伝統的価値観を失い、現実感の伴わない画一化されたイメージだけが浸透していきました。このようにして、サンゴ礁の実態を深く知る機会を失ってしまいました。さらに、私たちの暮らし方、いわゆる開発、農業・観光・漁業などの諸産業の活動が、直接間接にサンゴ礁生態系の破壊と疲弊を引き起こしています。永い年月をかけて形成された貴重なサンゴ礁は次々に埋め立てなどにより消失しました。幸いにして残ったサンゴ礁も、止まらない赤土や汚水の流出、オニヒトデの大発生、サンゴの病気に加えて、過剰利用によってサンゴ礁の持つ優れた資源的価値を損ない、その存続が危ぶまれています。これらに加えて、頻発する白化現象など、地球規模の気候変動による海水温の上昇や海洋酸性化は、サンゴ礁にも大きな影響を及ぼしつつあり、問題はより広域化・複雑化しています。世界的にも貴重な沖縄のサンゴ礁を健全な状態で次世代へ残すために、その保全に取り組むことが急務です。

2004年に沖縄で開催された国際サンゴ礁シンポジウムでの「沖縄宣言」や、2007年発効の海洋基本法を始めとする国内の法整備など、研究者や国によるサンゴ礁保全への取り組みが始まっています。沖縄においても、地域の自治体やNPOや企業による海岸清掃、オニヒトデ駆除、海の観察会、サンゴ群集再生の試み、観光業・漁業者による海域利用のルール作りなど、さまざまな活動が進められています。こうした活動を効果的に行いより良い結果を導くには、サンゴ礁を取り巻く自然・文化・社会・経済の特性や多様な価値観を十分理解したうえで、それぞれの活動を相互に連携させて持続的に進めていくことがとても大切です。

そのためには、持続可能なサンゴ礁の利用による地域づくりをすすめ、地域住民、漁業者、観光業者、農業者、県内外の企業、教育関係者、研究者、NPO、行政機関など、さまざまな人々を横断的に結びつける組織が必要です。そしてその組織を総合的で持続的に運営してゆくには、異なった立場にある多くの人々が、自由に情報や意見交換を行える場がつけられること、多様な参加と協力が行える仕組みを用意することも必要です。

このような組織を目指してここに「沖縄県サンゴ礁保全推進協議会」を設立します。

平成20年5月18日

第8号議案 その他